

令和7年度

12月のおれんじサロン ひと・まち

～若年性認知症本人交流会～

令和7年12月10日(水)

＼気軽に旅行を楽しむには・・・／

今日の本人ミーティングでは、経産省オレンジノベーション・プロジェクトに参画されている(株)小谷常の女将さん(京丹後市)と、障害があってもなくても、誰もが気軽に楽しめる旅行について意見交換しました。

「ホテルの仕様により、自分の宿泊する部屋がわかりにくい場合もあるが、特に配慮が必要と感じることはない。以前、講演依頼者から宿泊先のホテルに、事前に自分のことを知らせてくれていたことがあり、ホテルスタッフの“配慮が必要だったら言ってほしい”と、さりげない声掛けには安心した」

「旅行に行くときは、家族が予約等してくれているな～」

「旅行に行けば絶対楽しいんだけど、予約する段階であきらめている人がいると思う」

「予約する段階からサポートパッケージがあればいいよね。例えば、集合場所に自宅から同行する添乗員サポートとか」

“宿泊先の方へメッセージ”

ハード面の改善に注視されている方が多いが、認知症に理解がある、認知症の人が働いているや、利用する人によってプランをカスタマイズできるなど、ソフト面のサポートを重視してほしいです。

また、その地域の医療・介護・福祉の各種機関と連携して、“専門職の仲居さんがいてくれる宿”があれば、より安心できると思います。



令和7年12月24日(水)

＼クリスマス会🎄／

今日のおれんじサロンは、X'mas 会で、きんぎょ食堂さんのご協力でケーキを用意し、久しぶりにみんなでケーキ🍰を食べながらのサロンでした。

クリスマス🎄をテーマに・・・

昭和生まれのメンバーたちは、子どもの頃を思い出しながら

「子どもの頃は、バタークリームのクリスマスケーキだったよね～」

「生クリームのケーキが登場した時には、驚いたね～」

また今年を振り返ってでは・・・

今年からおれんじサロンに参加されているご家族から、

「パートナーが認知症と診断された時は、人生終わったぐらい絶望し、私の人生これからは介護者だと覚悟したが、おれんじサロンに参加して“これまで同様、お互いが自身の人生を楽しんでいいんだ、単なる伴走者でいいんだ”「認知症じゃなくても起こりえる“何か”を心配するより、起こった時に周りの人たちに相談し一緒に考えたらいいと思えるようになり、すごく良いクリスマスを過ごすことができている！」と、とってもステキな思いが聴けました。みなさま、来年も良い年にしましょう～🎄🌟



次月は、令和8年1月28日(水) 午後2時～開催

参加希望の方は下記までご連絡ください

【お問い合わせ】 京都市長寿すこやかセンター 電話(075)354-8741



【Facebook ページの QR コード】